
長崎県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム メールマガジン 2026年1月14日発行（第13号）
孤独・孤立対策 - 長崎県 (<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/gosodanmadoguchi/kodokukoritu/>)

【本日の内容】

【長崎県長寿社会課より】

「長崎県ケアラー支援シンポジウム」のアーカイブ配信について

長崎県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム事務局です。

新しい年の始まり、皆さまにとって実り多き一年となりますようお祈り申し上げます。

本年も、孤独・孤立対策に関する情報をお届けし、官民連携の輪を広げてまいります。

さて、メールマガジン第13号をお届けいたします。

(1)「長崎県ケアラー支援シンポジウム」のアーカイブ配信について

令和7年11月15日に開催した「長崎県ケアラー支援シンポジウム2025」の各プログラムについて、以下のリンク先にて公開しています。

期間限定公開となりますので、お早めにご視聴ください。

=====

<配信先リンク>

○基調講演「介護離職問題から考えるケアラーへの支援について」

<https://www.youtube.com/watch?si=g9rQeORMgj-ZUat4&v=i0DyFpPF87g&feature=youtu.be>

○セミナーA「支援が必要な子どもを持つケアラーに対する支援について」

<https://www.youtube.com/watch?si=vi6cR-pzHzWpxL79&v=pq-9qvQwbE8&feature=youtu.be>

○セミナーB「ヤングケアラー支援について考える「子どもの貧困」の視点から」

<https://www.youtube.com/watch?si=l5F3ZGwTJu9kfbbC&v=rF11eB0TUPQ&feature=youtu.be>

<配信期間>

令和8年1月17日（土曜日）まで

<開催概要>

○目的：家族の介護等を行うケアラーが、誰にも頼れずに孤立したり、心身が疲弊してしまうことが問題となっています。少子高齢化や核家族化などが原因で、家庭の人手は少なくなり、個々人にかかる介護等の負担は以前より大きくなっています。

長崎県では11月を「長崎県ケアラー支援月間」とし、ケアラーが援助を受ける人とともに、安心して人生を送ることができる地域共生社会の実現を目指し、県民向けのシンポジウムを開催しました。

○日時：令和7年11月15日（土曜日）13:30から16:00まで

○詳細：県のホームページをご覧ください。

<https://www.pref.nagasaki.jp/object/kenkaranooshirase/oshirase/749939.html>

=====

<プログラム>

【基調講演】

「介護離職問題から考えるケアラーへの支援について」

株式会社 ワーク&ケアバランス研究所 代表取締役 和氣 美枝 氏

【テーマ別セミナー】（ライブ配信なし、後日アーカイブ配信を公開）

セミナーA「支援が必要な子どもを持つケアラーに対する支援について」

高次脳機能障害小児家族会「よりよりホームズ」 副会長 西川 友子 氏

NPO 法人「長崎ファミリーハウス」 副理事長 多田 ひとみ 氏

セミナーB「ヤングケアラー支援について考える 「子どもの貧困」の視点から」

長崎大学教育学部准教授 小西 祐馬 氏

=====

※本メールは会員の皆様に BCC にて送付しています。

受信アドレスの変更は、御手数ですが、以下のフォームでご連絡下さい。

(https://apply.e-tumo.jp/pref-nagasaki-u/offer/offerList_detail?tempSeq=9951)

※こちらのメールマガジンでは、会員の皆様から、イベントの開催など孤独・孤立対策に関連する情報を広く募集しています。「専用ホームページ」(<https://www.pref.nagasaki.jp/object/tetsuduki-shinsei/tetsuduki-shinseikankei/734497.html>)「知らせる」(会員の等紹介)にもイベント情報などを掲載可能ですので、ご提供可能な情報がありましたら、以下のフォームでご連絡ください。

(<https://forms.office.com/r/u40psKN9WW>)

以上、よろしくお願いいたします。

問い合わせ先

長崎県福祉保健部福祉保健課 企画予算班

電話：095-895-2412

FAX：095-895-2570